



平成23年11月18日

平成23年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査
(10月1日現在) について

文部科学省及び厚生労働省では、24年3月大学等卒業予定者の就職内定状況を共同で調査し、このほど平成23年10月1日現在の状況を取りまとめましたので、公表いたします。

－内定率の概要－

大学等の就職内定率は、大学（学部）は59.9%（昨年同期比2.3ポイント増）、短期大学は22.7%（同0.2ポイント増）、大学等（大学、短期大学、高等専門学校）全体では58.4%（同2.4ポイント増）、また専修学校を含めると56.5%（同2.5ポイント増）。

文部科学省及び厚生労働省では、東日本大震災により被災した新卒者等への緊急対応として、採用内定を得ている被災地の新卒者が、内定取消し等を受けることなく、可能な限り入社できるよう主要経済団体等に要請するとともに、首都圏で東日本大震災により被災した新卒者等が就職活動を継続できるよう宿泊施設の無償提供などを行ってまいりました。また、大学等のキャリアカウンセラーとハローワークのジョブサポーターとの連携を一層促進させるなど新卒者等の就職支援の強化に努めてまいりました。

引き続き、関係府省と連携しつつ、キャリアカウンセラーによる就職相談、就業力向上のための支援プログラムの充実など、新卒者等の雇用に関する施策の推進に努めてまいります。

(同時発表：厚生労働省)

<担当> 高等教育局学生・留学生課

課長	松尾 泰樹 (内線2514)
課長補佐(併) 就職指導専門官	森山 睦 (内線2088)
厚生係長	黒部 敦之 (内線2519)

電話：03-5253-4111 (代表)
03-6734-2519 (直通)

生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室

室長	圓入 由美 (内線2914)
室長補佐	佐藤 秀雄 (内線2064)
専修学校第一係長	山本 悟 (内線2939)

電話：03-5253-4111 (代表)
03-6734-2939 (直通)

1. 調査内容

1) 調査依頼先 設置者・地域の別等を考慮し、文部科学省・厚生労働省において抽出。

国立大学	21校	}	合計 112校
公立大学	3校		
私立大学	38校		
短期大学	20校		
高等専門学校	10校		
専修学校	20校		

2) 調査対象人員 6,250人

大学、短期大学、高等専門学校	計 5,690人
専修学校	560人

3) 調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況等につき調査を実施する。

4) 調査時期及び 発表時期	調査時期	発表時期
	平成23年10月1日	11月18日
	12月1日	1月中旬
	平成24年2月1日	3月中旬
	4月1日	5月中旬

2. 調査結果の主な概要

【全体の概要】

- 調査項目の就職内定率の全事項について、前年同時期より向上。
- 大学の就職内定率は59.9%（昨年同期比2.3ポイント増）。このうち国公立大学の就職内定率は、67.4%（同4.2ポイント増）、私立大学は、57.4%（同1.6ポイント増）。
- 短期大学の就職内定率は、22.7%（昨年同期比0.2ポイント増）。
- 高等専門学校及び専修学校の就職内定率は、それぞれ93.9%（昨年同期比0.1ポイント増）、40.2%（同2.3ポイント増）。

【男女別の概要】

- 男女別では、男子大学生の就職内定率は61.7%（昨年同期比2.2ポイント増）、女子は57.7%（同2.4ポイント増）。また、国公立大学では、男子：68.8%、女子：65.7%、私立大学では、男子：59.5%、女子：54.9%となっている。

【文系・理系別の概要】※大学のみ

- 文系・理系別では、文系の就職内定率は59.7%（昨年同期比2.3ポイント増）、理系の就職内定率は60.6%（同2.3ポイント増）となっている。

【地域別の概要】※大学のみ

- 地域別では、関東地区の就職内定率が最も高く64.9%となっている。

平成23年度大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の
就職内定状況調査（10月1日現在）について

平成23年10月1日現在 文部科学省・厚生労働省調査
調査校は、大学62校、短大20校、高専10校、専修学校20校の計112校である。
なお、就職内定率とは、就職希望者に対する現時点での内定者の割合である。
また、()内は前年度同期調査からの増減値(▲は減少)である。

[全体]

区 分	就職希望率	就職内定率	<参 考>
			前年度卒業学生の就職率 (H23.4.1現在)
大 学	76.9% (3.3)	59.9% (2.3)	91.0%
うち 国公立	57.8% (4.0)	67.4% (4.2)	93.5%
私 立	86.4% (2.9)	57.4% (1.6)	90.1%
短 期 大 学	79.8% (0.2)	22.7% (0.2)	84.1%
高 等 専 門 学 校	65.8% (9.5)	93.9% (0.1)	98.7%
計	76.4% (3.4)	58.4% (2.4)	90.7%
専修学校	91.1% (▲ 2.7)	40.2% (2.3)	86.2%
専修学校を含めた総計	77.7% (2.9)	56.5% (2.5)	90.2%

[男子]

区 分	就職希望率	就職内定率	<参 考>
			前年度卒業学生の就職率 (H23.4.1現在)
大 学	71.4% (2.8)	61.7% (2.2)	91.1%
うち 国公立	49.7% (3.4)	68.8% (4.7)	92.5%
私 立	83.1% (2.5)	59.5% (1.4)	90.6%
高 等 専 門 学 校	65.8% (9.5)	93.9% (0.1)	98.7%
計	70.7% (3.6)	65.5% (2.4)	92.0%
専修学校	92.6% (▲ 0.5)	40.4% (4.6)	88.2%
専修学校を含めた総計	72.4% (3.2)	63.0% (2.8)	91.6%

[女子]

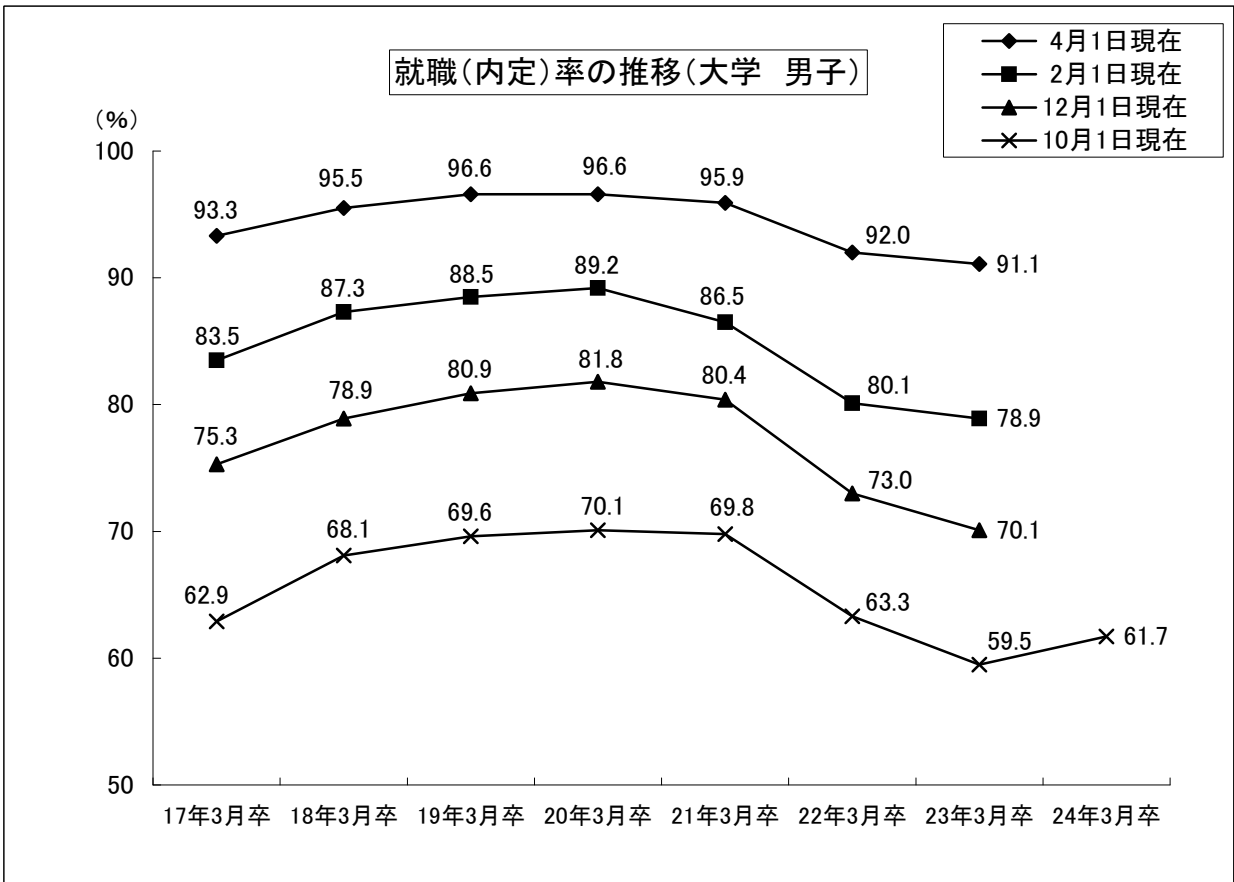
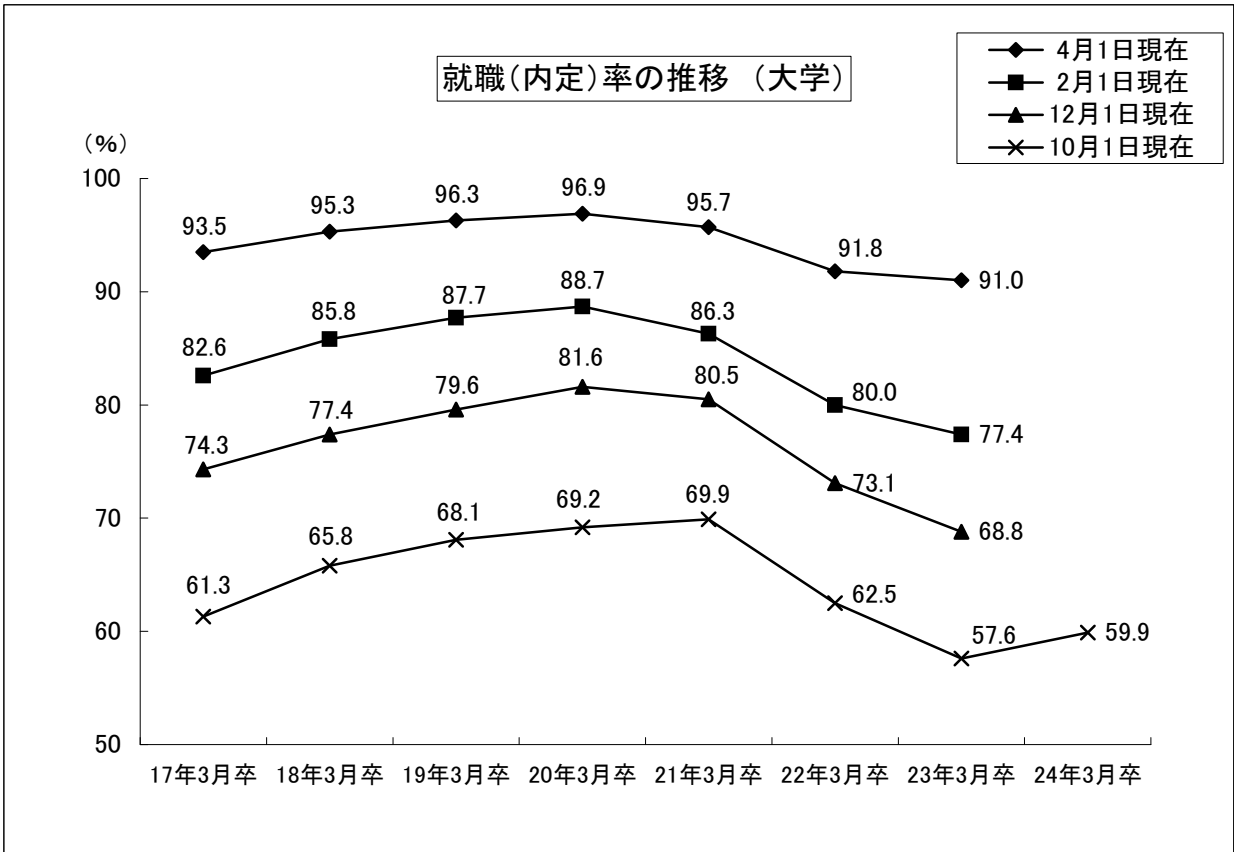
区 分	就職希望率	就職内定率	<参 考>
			前年度卒業学生の就職率 (H23.4.1現在)
大 学	84.6% (4.0)	57.7% (2.4)	90.9%
うち 国公立	70.6% (4.9)	65.7% (3.5)	94.6%
私 立	90.8% (3.5)	54.9% (1.9)	89.6%
短 期 大 学	79.8% (0.2)	22.7% (0.2)	84.1%
計	83.6% (3.2)	50.7% (2.1)	89.5%
専修学校	89.7% (▲ 4.7)	40.0% (0.1)	84.4%
専修学校を含めた総計	84.2% (2.4)	49.6% (2.0)	88.9%

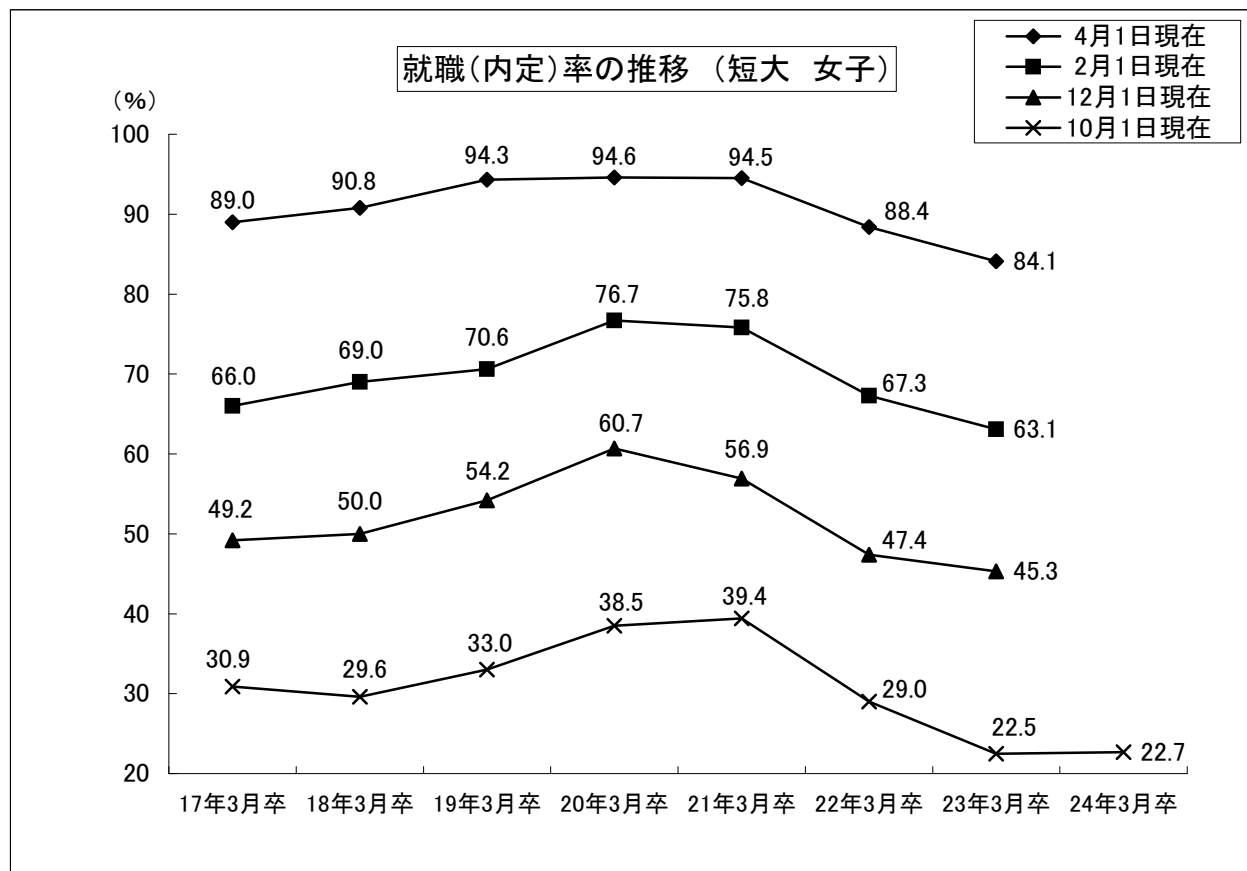
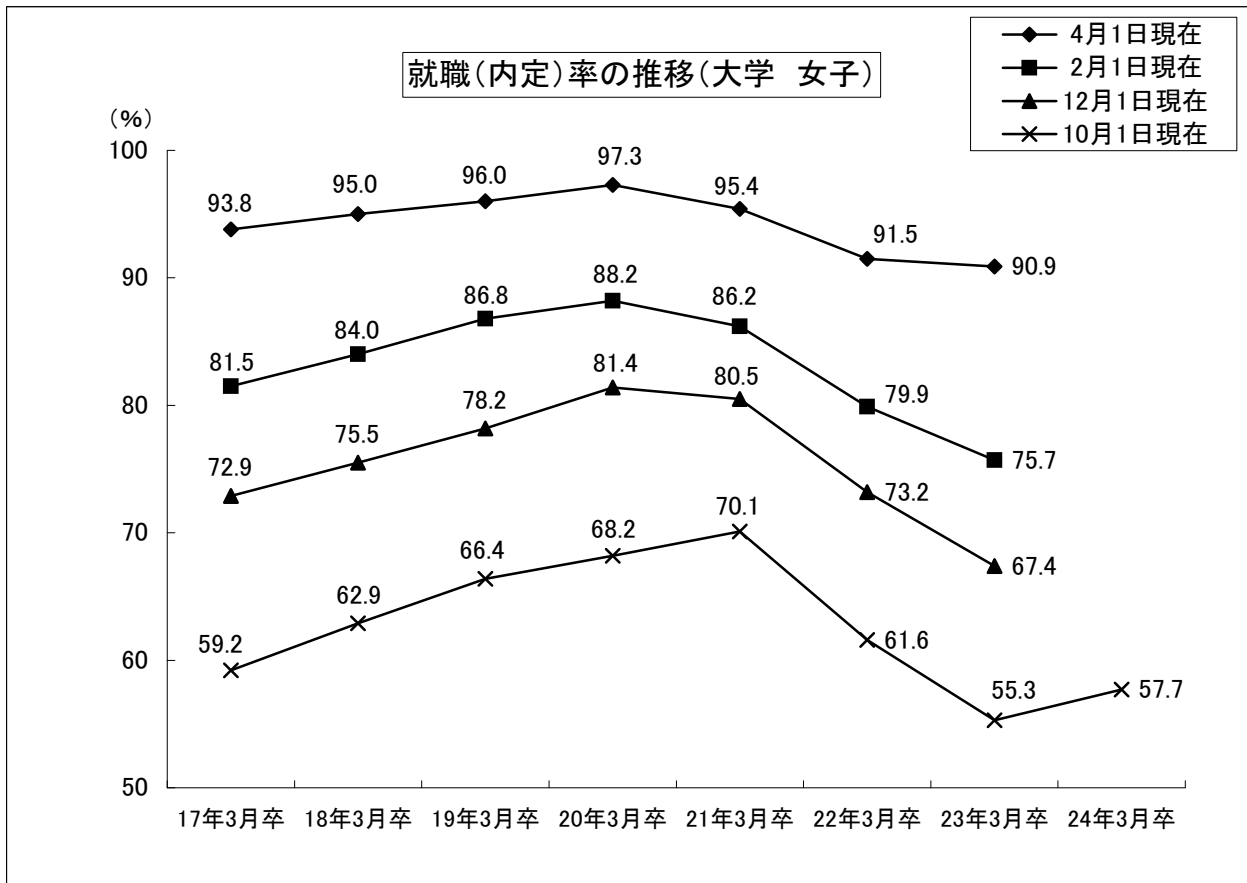
[大学 文理別就職内定率]

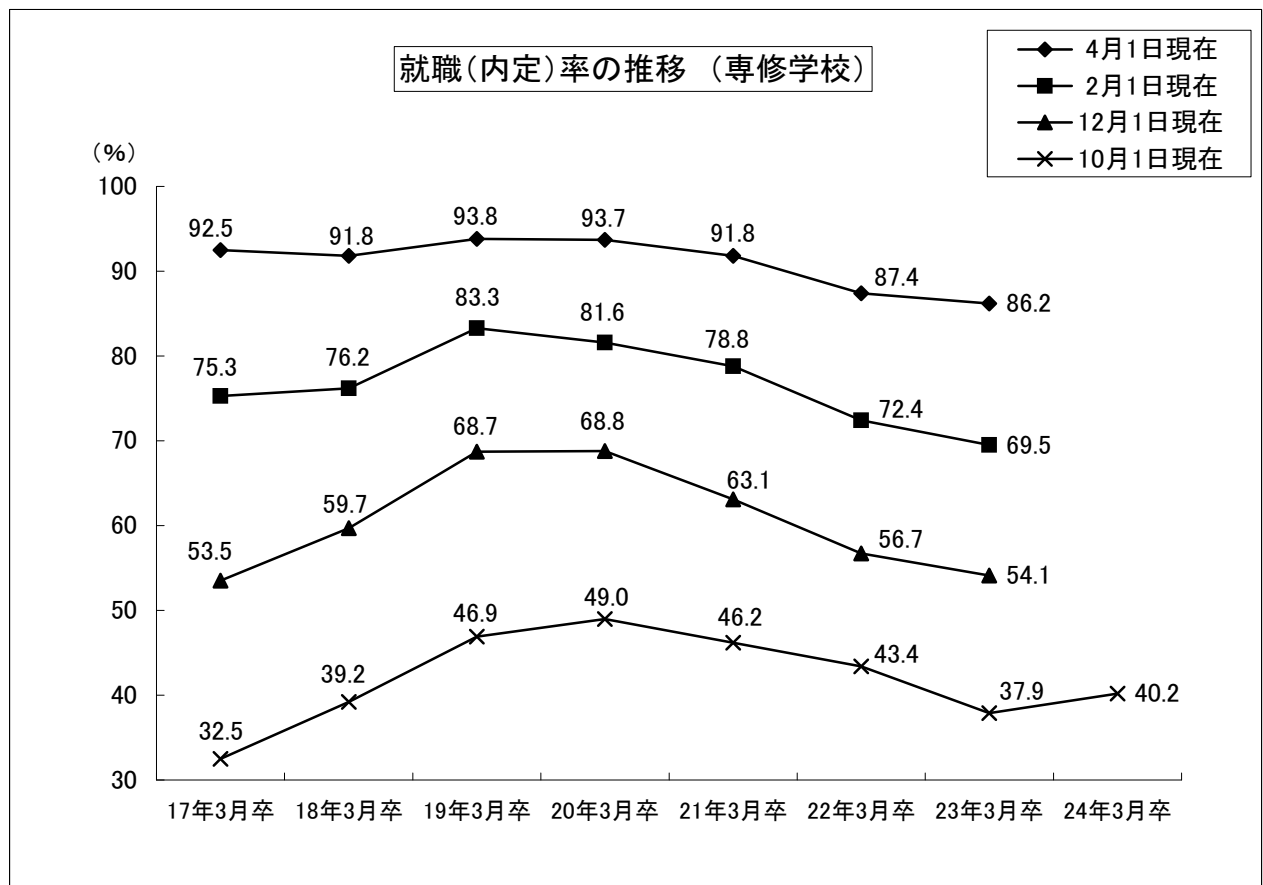
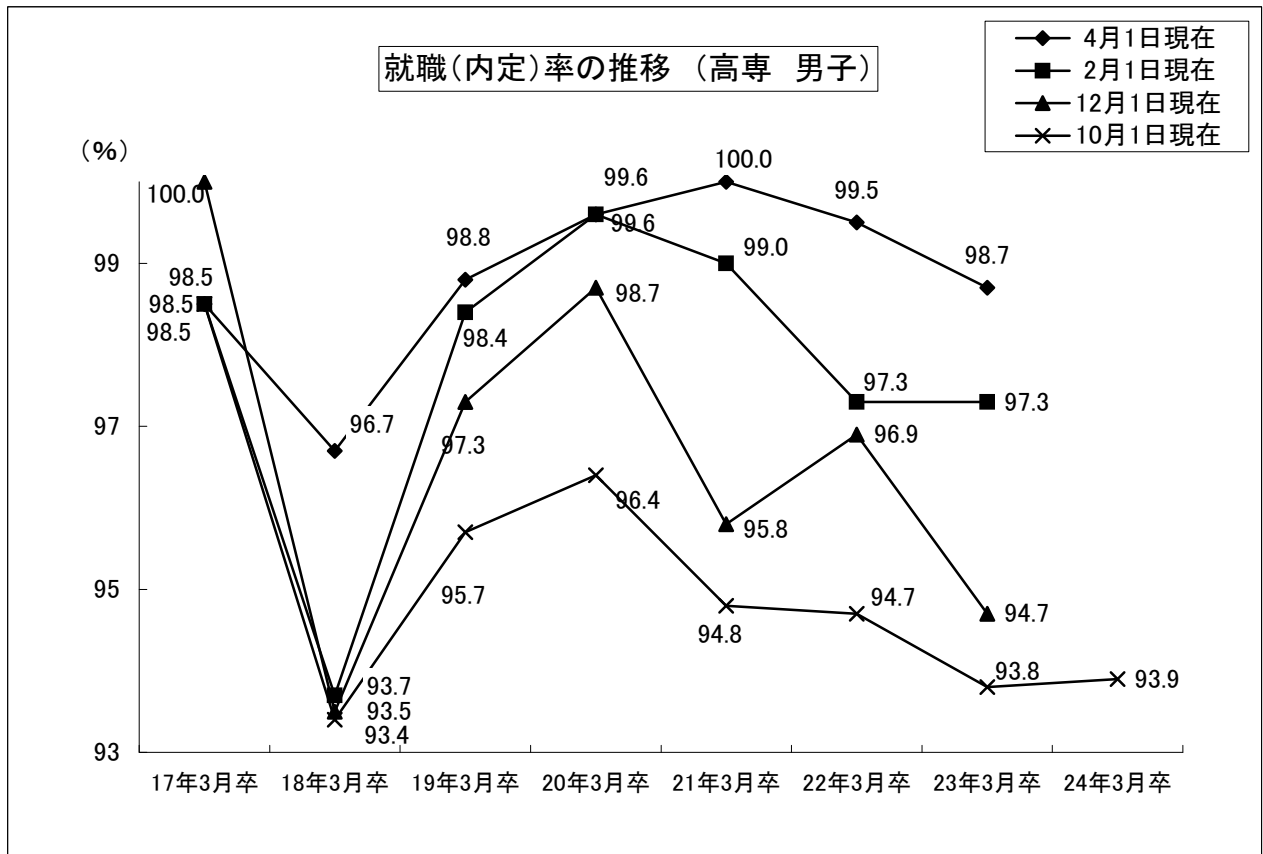
区 分		文 系		理 系	
大 学		59.7%	(2.3)	60.6%	(2.3)
う ち	国公立	68.8%	(4.4)	64.5%	(3.9)
	私立	57.3%	(1.6)	57.7%	(1.3)

[大学 地域別就職内定状況]

地 域	就 職 内 定 率	地 域	就 職 内 定 率
北海道・東北地区	56.9% (1.3)	近畿地区	61.4% (0.9)
関東地区	64.9% (3.9)	中国・四国地区	53.5% (0.5)
中部地区	55.9% (4.0)	九州地区	52.6% (1.1)







大学、短期大学及び高等専門学校卒業者の10月1日現在の就職内定状況調査の推移

○就職内定率

【全体】

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	69.9%	73.6% (3.7)	67.5% (▲6.1)	63.6% (▲3.9)	63.7% (0.1)	65.0% (1.3)	64.1% (▲0.9)	60.2% (▲3.9)	61.3% (1.1)	65.5% (4.5)	68.1% (2.3)	69.2% (1.1)	69.9% (0.7)	62.5% (▲7.4)	57.6% (▲4.9)	59.9% (2.3)
うち 国公立	65.8%	67.6% (1.8)	65.0% (▲2.6)	65.2% (0.2)	68.7% (3.5)	65.5% (▲3.2)	62.6% (▲2.9)	63.4% (0.8)	62.8% (▲0.6)	66.3% (3.5)	70.3% (4.0)	73.5% (3.2)	73.2% (▲0.3)	71.3% (▲1.9)	63.2% (▲8.1)	67.4% (4.2)
私立	71.4%	75.6% (4.2)	68.3% (▲7.3)	63.1% (▲5.2)	62.1% (▲1.0)	64.9% (2.8)	64.6% (▲0.3)	59.3% (▲5.3)	60.9% (1.6)	65.6% (4.7)	67.5% (1.9)	67.9% (0.4)	69.0% (1.1)	59.6% (▲9.4)	55.8% (▲3.8)	57.4% (1.6)
短期大学	46.8%	47.0% (0.2)	38.8% (▲8.2)	36.5% (▲2.3)	36.6% (0.1)	36.6% (0.0)	36.1% (▲0.5)	29.0% (▲7.1)	30.9% (1.9)	29.6% (▲1.3)	33.0% (3.4)	38.5% (5.5)	39.4% (0.9)	29.0% (▲10.4)	22.5% (▲6.5)	22.7% (0.2)
高等専門学校	93.4%	94.6% (1.2)	95.9% (1.3)	95.9% (0.0)	91.5% (▲4.0)	92.1% (0.2)	93.9% (1.8)	95.0% (1.1)	98.5% (3.5)	93.4% (▲5.1)	95.7% (2.3)	96.4% (0.7)	94.8% (▲1.6)	94.7% (▲0.1)	93.8% (▲0.9)	93.9% (0.1)
総計	67.9%	71.2% (3.3)	65.0% (▲6.2)	61.3% (▲3.7)	61.2% (▲0.1)	62.5% (1.3)	61.7% (▲0.8)	57.5% (▲4.2)	58.7% (1.2)	62.3% (3.6)	66.4% (4.1)	67.6% (1.2)	68.3% (0.7)	61.0% (▲7.3)	56.0% (▲5.0)	58.4% (2.4)

【男子】

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	73.9%	76.4% (2.5)	71.3% (▲5.1)	66.4% (▲4.9)	66.0% (▲0.4)	67.6% (1.6)	67.0% (▲0.6)	61.1% (▲5.9)	62.9% (1.8)	68.1% (5.2)	69.6% (1.5)	70.1% (0.5)	69.8% (▲0.3)	63.3% (▲6.5)	59.5% (▲3.8)	61.7% (2.2)
うち 国公立	67.7%	70.3% (2.6)	68.6% (▲1.7)	67.6% (▲1.0)	68.3% (0.7)	66.4% (▲1.9)	64.8% (▲1.6)	65.2% (0.4)	66.3% (1.1)	69.7% (3.4)	71.4% (1.7)	76.6% (5.4)	73.0% (▲3.8)	69.0% (▲4.0)	64.1% (▲4.9)	68.8% (4.7)
私立	76.1%	76.7% (2.6)	72.2% (▲6.5)	66.0% (▲6.2)	65.3% (▲0.7)	68.0% (2.7)	67.6% (▲0.4)	60.0% (▲7.6)	62.1% (2.1)	67.7% (5.6)	69.1% (1.4)	68.0% (▲1.1)	68.9% (0.9)	61.5% (▲7.4)	58.1% (▲3.4)	59.5% (1.4)
高等専門学校	93.4%	94.6% (1.2)	95.9% (1.3)	95.9% (0.0)	91.5% (▲4.0)	92.1% (0.2)	93.9% (1.8)	95.0% (1.1)	98.5% (3.5)	93.4% (▲5.1)	95.7% (2.3)	96.4% (0.7)	94.8% (▲1.6)	94.7% (▲0.1)	93.8% (▲0.9)	93.9% (0.1)
総計	74.5%	77.0% (2.5)	72.0% (▲5.0)	67.3% (▲4.7)	66.7% (▲0.6)	68.3% (1.6)	67.8% (▲0.5)	62.1% (▲5.7)	64.1% (2.0)	68.9% (4.8)	72.7% (3.8)	72.7% (0.0)	72.2% (▲0.5)	66.5% (▲5.7)	63.1% (▲3.4)	65.5% (2.4)

【女子】

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	61.1%	67.3% (6.2)	59.2% (▲8.1)	57.7% (▲1.5)	59.7% (2.0)	60.6% (0.9)	60.1% (▲0.5)	59.1% (▲1.0)	59.2% (0.1)	62.9% (3.7)	66.4% (3.5)	68.2% (1.8)	70.1% (1.9)	61.6% (▲8.5)	55.3% (▲6.3)	57.7% (2.4)
うち 国公立	61.4%	61.5% (0.1)	57.1% (▲4.4)	59.8% (2.7)	69.5% (9.7)	64.0% (▲5.5)	59.6% (▲4.4)	61.0% (1.4)	58.7% (▲2.3)	62.4% (3.7)	69.2% (6.8)	69.9% (0.7)	73.3% (3.4)	72.6% (0.5)	62.2% (▲11.6)	65.7% (3.5)
私立	61.0%	69.2% (8.2)	59.9% (▲9.3)	57.1% (▲2.8)	56.9% (▲0.2)	59.7% (2.8)	60.2% (0.5)	58.5% (▲1.7)	59.4% (0.9)	63.1% (3.7)	65.4% (2.3)	67.7% (2.3)	69.0% (1.3)	57.3% (▲11.7)	53.0% (▲4.3)	54.9% (1.9)
短期大学	46.8%	47.0% (0.2)	38.8% (▲8.2)	36.5% (▲2.3)	36.6% (0.1)	36.6% (0.0)	36.1% (▲0.5)	29.0% (▲7.1)	30.9% (1.9)	29.6% (▲1.3)	33.0% (3.4)	38.5% (5.5)	39.4% (0.9)	29.0% (▲10.4)	22.5% (▲6.5)	22.7% (0.2)
総計	57.1%	61.9% (4.8)	53.6% (▲8.3)	51.7% (▲1.9)	54.0% (2.3)	54.7% (0.7)	54.8% (0.1)	52.6% (▲2.2)	53.2% (0.6)	55.9% (2.7)	59.7% (3.8)	62.2% (2.5)	64.1% (1.9)	55.1% (▲9.0)	48.6% (▲6.5)	50.7% (2.1)

(注) 1. ()内は、前年度同期の調査からの増減値である(▲は減少)。
 2. 平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。
 3. 数字に下線が引かれているものは、統計開始以来最も低い値を示し、斜体は最も高い値を示す。

【文理別内定率】(文系)

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	68.7%	71.9% (▲3.2)	65.6% (▲6.3)	62.6% (▲3.0)	62.6% (0.0)	63.8% (1.2)	63.7% (▲0.1)	60.0% (▲3.7)	60.2% (0.2)	65.2% (5.0)	67.4% (2.2)	68.8% (1.4)	70.4% (1.6)	61.2% (▲9.2)	57.4% (▲3.8)	59.7% (2.3)
うち 国公立	62.7%	63.0% (0.3)	60.5% (▲2.5)	63.4% (2.9)	66.7% (3.3)	62.8% (▲3.9)	60.7% (▲2.1)	64.7% (4.0)	62.8% (▲1.9)	68.1% (5.2)	70.5% (2.4)	74.7% (4.2)	76.1% (1.4)	71.0% (▲5.1)	64.4% (▲6.6)	68.8% (4.4)
私立	70.2%	74.2% (4.0)	66.9% (▲7.3)	62.3% (▲4.6)	61.7% (▲0.6)	64.0% (2.3)	64.5% (0.5)	59.0% (▲5.5)	59.7% (0.7)	64.3% (4.8)	66.7% (2.2)	67.4% (0.7)	69.0% (1.6)	58.7% (▲10.3)	55.7% (▲3.0)	57.3% (1.6)

【文理別内定率】(理系)

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	75.2%	80.6% (5.4)	75.6% (▲5.0)	68.0% (▲7.6)	68.4% (0.4)	70.5% (2.1)	65.8% (▲4.7)	61.1% (▲4.7)	66.4% (5.3)	68.4% (2.0)	71.7% (3.3)	71.2% (▲0.5)	68.1% (▲3.1)	68.5% (0.4)	58.3% (▲10.2)	60.6% (2.3)
うち 国公立	71.4%	76.1% (4.7)	73.7% (▲2.4)	68.5% (▲5.2)	72.8% (4.3)	70.9% (▲1.9)	66.4% (▲4.5)	60.5% (▲5.9)	62.8% (2.3)	62.6% (▲0.2)	69.9% (7.9)	71.1% (1.2)	67.7% (▲3.4)	71.8% (4.1)	60.6% (▲11.2)	61.5% (3.9)
私立	78.6%	84.6% (5.9)	77.2% (▲7.3)	67.6% (▲9.6)	65.1% (▲2.5)	70.2% (5.1)	65.3% (▲4.9)	61.5% (▲3.8)	68.9% (7.4)	72.4% (3.5)	73.1% (0.7)	71.3% (▲1.8)	68.5% (▲2.8)	65.7% (▲2.8)	56.4% (▲9.3)	57.7% (1.3)

【地域別内定状況(大学)】

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
北海道・東北	61.6%	58.5% (▲3.1)	52.2% (▲6.3)	52.5% (0.3)	51.0% (▲1.5)	53.4% (2.4)	54.4% (1.0)	57.5% (3.1)	55.5% (▲2.0)	57.1% (1.6)	60.1% (3.0)	62.1% (2.0)	60.3% (▲1.8)	60.6% (0.3)	55.6% (▲5.0)	56.9% (1.3)
関東	83.7%	85.6% (1.8)	79.3% (▲6.2)	71.3% (▲8.0)	75.2% (3.9)	76.1% (0.9)	73.9% (▲2.2)	67.3% (▲6.6)	67.5% (0.2)	72.5% (5.0)	71.2% (▲1.3)	71.0% (▲0.2)	73.4% (2.4)	62.9% (▲10.5)	61.0% (▲1.9)	64.9% (3.9)
中部	52.8%	65.6% (12.8)	61.8% (▲3.8)	63.2% (1.4)	64.4% (1.2)	65.3% (0.9)	58.9% (▲6.4)	57.5% (▲1.4)	60.3% (2.8)	66.0% (5.7)	66.4% (0.4)	62.7% (▲3.7)	66.2% (5.5)	61.4% (▲6.8)	51.9% (▲9.5)	55.9% (4.0)
近畿	73.1%	77.0% (3.9)	72.6% (▲4.4)	68.2% (▲4.4)	59.2% (▲9.0)	63.5% (4.3)	64.3% (0.8)	61.8% (▲2.5)	65.6% (3.8)	67.9% (2.3)	73.9% (6.0)	75.0% (1.1)	72.3% (▲2.7)	65.1% (▲7.2)	60.5% (▲4.6)	61.4% (0.9)
中国・四国	52.5%	57.4% (4.9)	45.6% (▲11.8)	48.2% (2.6)	58.1% (9.9)	50.7% (▲7.4)	53.4% (2.7)	39.2% (▲14.2)	39.8% (0.6)	50.8% (11.0)	59.1% (8.3)	66.4% (7.3)	67.5% (1.1)	59.7% (▲7.8)	53.0% (▲6.7)	53.5% (0.5)
九州	51.2%	58.1% (6.9)	47.8% (▲10.3)	45.5% (▲2.3)	50.4% (4.5)	50.9% (0.5)	53.4% (2.5)	50.9% (▲2.5)	49.0% (▲1.9)	54.5% (5.5)	60.2% (5.7)	65.4% (5.2)	65.7% (0.3)	59.7% (▲6.0)	51.5% (▲8.2)	52.6% (1.1)

(注) 1. ()内は、前年度同期の調査からの増減値である(▲は減少)。
 2. 平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。
 3. 数字に下線が引かれているものは、統計開始以来最も低い値を示し、斜体は最も高い値を示す。

○就職希望率

【全体】

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	76.4%	77.0% (0.6)	75.1% (▲1.9)	71.4% (▲3.7)	71.7% (0.3)	72.3% (0.6)	73.2% (0.9)	72.4% (▲0.8)	73.6% (1.2)	75.1% (1.5)	74.2% (▲0.9)	77.1% (2.9)	77.3% (0.2)	76.4% (▲0.9)	73.6% (▲2.8)	76.9% (3.3)
うち 国公立	58.2%	58.8% (0.6)	54.9% (▲3.9)	51.2% (▲3.7)	51.6% (0.4)	51.5% (▲0.1)	52.6% (1.1)	48.5% (▲3.7)	49.1% (0.2)	51.3% (2.2)	52.4% (1.1)	55.3% (2.9)	54.9% (▲0.4)	56.9% (2.0)	53.8% (▲3.1)	57.8% (4.0)
私立	85.7%	86.4% (0.7)	85.4% (▲1.0)	81.8% (▲3.6)	81.2% (▲0.6)	82.1% (0.9)	83.0% (0.9)	83.5% (0.5)	85.3% (1.8)	86.6% (1.3)	85.0% (▲1.6)	87.9% (2.9)	88.4% (0.5)	86.0% (▲2.4)	83.5% (▲2.5)	86.4% (2.9)
短期大学	88.6%	79.8% (▲4.0)	80.2% (0.4)	80.2% (0.0)	79.4% (▲0.8)	77.7% (▲1.7)	77.3% (▲0.4)	79.4% (2.1)	79.6% (0.2)	81.3% (1.7)	78.7% (▲2.6)	81.9% (3.2)	78.7% (▲3.2)	79.6% (0.9)	79.6% (0.0)	79.8% (0.2)
高等専門学校	63.3%	61.7% (▲1.6)	61.7% (0.0)	61.7% (0.0)	51.7% (▲10.0)	52.5% (0.8)	55.0% (2.5)	50.0% (▲5.0)	55.8% (5.8)	50.8% (▲5.0)	63.3% (12.5)	56.0% (▲7.3)	52.8% (▲3.2)	56.8% (4.0)	56.3% (▲0.5)	65.6% (9.5)
総計	76.8%	76.9% (0.1)	75.3% (▲1.6)	72.1% (▲3.2)	72.0% (▲0.1)	72.3% (0.3)	73.2% (0.9)	72.5% (▲0.7)	73.8% (1.3)	75.2% (1.4)	73.9% (▲1.3)	76.0% (2.1)	75.7% (▲0.2)	75.3% (▲0.4)	73.0% (▲2.3)	76.4% (3.4)

【男子】

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	75.0%	75.1% (0.1)	73.2% (▲1.9)	69.2% (▲4.0)	69.4% (▲0.8)	69.4% (1.0)	70.2% (0.8)	68.9% (▲1.3)	69.7% (0.8)	70.9% (1.2)	68.7% (▲2.2)	72.2% (3.5)	71.7% (▲0.5)	71.3% (▲0.4)	68.6% (▲2.7)	71.4% (2.8)
うち 国公立	54.9%	55.9% (1.0)	51.3% (▲4.6)	48.2% (▲3.1)	47.5% (▲0.7)	48.0% (0.5)	47.6% (▲0.4)	43.5% (▲4.1)	42.5% (▲1.0)	44.5% (2.0)	44.0% (▲0.5)	47.6% (3.6)	46.3% (▲1.3)	48.2% (1.9)	46.3% (▲1.9)	49.7% (3.4)
私立	86.0%	85.6% (▲0.4)	85.2% (▲0.4)	80.8% (▲4.4)	79.2% (▲1.6)	80.4% (1.2)	81.7% (1.3)	81.9% (0.2)	83.5% (1.6)	84.5% (1.0)	82.0% (▲2.5)	85.3% (3.3)	85.4% (0.1)	83.6% (▲1.8)	80.6% (▲3.0)	83.1% (2.5)
高等専門学校	63.3%	61.7% (▲1.6)	61.7% (0.0)	61.7% (0.0)	51.7% (▲10.0)	52.5% (0.8)	55.0% (2.5)	50.0% (▲5.0)	55.8% (5.8)	50.8% (▲5.0)	63.3% (12.5)	56.0% (▲7.3)	52.8% (▲3.2)	56.8% (4.0)	56.3% (▲0.5)	65.6% (9.5)
総計	74.6%	74.6% (0.0)	72.8% (▲1.8)	69.0% (▲3.8)	67.8% (▲1.2)	68.7% (0.9)	69.6% (0.9)	68.1% (▲1.5)	69.1% (1.0)	70.0% (0.9)	68.1% (▲1.9)	70.2% (2.1)	69.3% (▲0.9)	69.4% (0.1)	67.1% (▲2.3)	70.7% (3.6)

【女子】

区分	平成8年10月	平成9年10月	平成10年10月	平成11年10月	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月	平成15年10月	平成16年10月	平成17年10月	平成18年10月	平成19年10月	平成20年10月	平成21年10月	平成22年10月	平成23年10月
大学	79.7%	81.5% (1.8)	79.5% (▲2.0)	76.6% (▲2.9)	77.9% (1.3)	77.7% (▲0.2)	77.8% (0.1)	77.6% (▲0.2)	79.2% (1.6)	81.0% (1.8)	81.9% (0.9)	83.9% (2.0)	85.0% (1.1)	83.4% (▲1.6)	80.6% (▲2.8)	84.6% (4.0)
うち 国公立	67.2%	66.7% (▲0.5)	64.9% (▲1.8)	59.5% (▲5.4)	60.8% (1.3)	59.3% (▲1.5)	61.3% (2.0)	58.1% (▲3.2)	59.6% (1.5)	61.9% (2.3)	65.7% (3.8)	67.3% (1.6)	68.6% (1.3)	70.6% (2.0)	65.7% (▲4.9)	70.6% (4.9)
私立	85.1%	88.0% (2.9)	86.0% (▲2.0)	84.1% (▲1.9)	84.8% (0.7)	85.2% (0.4)	84.9% (▲0.3)	85.9% (1.0)	87.6% (1.7)	89.2% (1.6)	89.1% (▲0.1)	91.2% (2.1)	92.3% (1.1)	89.1% (▲3.2)	87.3% (▲1.8)	90.8% (3.5)
短期大学	82.6%	79.8% (▲4.0)	80.2% (0.4)	80.2% (0.0)	79.4% (▲0.8)	77.7% (▲1.7)	77.3% (▲0.4)	79.4% (2.1)	79.6% (0.2)	81.3% (1.7)	78.7% (▲2.6)	81.9% (3.2)	78.7% (▲3.2)	79.6% (0.9)	79.6% (0.0)	79.8% (0.2)
総計	80.8%	81.1% (0.3)	79.7% (▲1.4)	77.6% (▲2.1)	78.2% (0.6)	77.7% (▲0.5)	77.7% (0.0)	78.0% (0.3)	79.3% (1.3)	81.1% (1.8)	81.2% (0.1)	83.5% (2.3)	82.7% (0.2)	82.7% (▲1.0)	80.4% (▲2.3)	83.6% (3.2)

(注)1.()内は、前年度同期の調査からの増減値である(▲は減少)。

2.平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。

3.数字に下線が引かれているものは、統計開始以来最も低い値を示し、斜体は最も高い値を示す。



東北新卒者就職応援プラン

東日本大震災被災地の新卒者の厳しい就職環境を踏まえ、1人でも多くの新卒者が就職できるよう、文部科学省・厚生労働省・経済産業省（中小企業庁）の連携により「東北新卒者就職応援プラン」を実施します。

被災地の新卒者に対する今後の支援（当面の取組）

① ハローワークと学校等の連携による地元求人の開拓（文科・厚労）

ハローワークと学校等が連携し、関係機関の長の連名による要請書の活用や学校等との合同求人開拓の実施などにより、地元求人を1件でも多く確保します。



【これまでの取組】（下線部が新たな取組）

- 被災地において求人開拓等を行うだけでなく、文部科学大臣、厚生労働大臣及び経済産業大臣の連名により、主要経済団体等に対し、厳しい就職環境にある新卒者の採用拡大を要請しました（7月8日）。
- 岩手労働局：岩手労働局長・岩手県知事・盛岡市長の連名により、県内主要経済団体7団体に要請訪問しました（6月16日・17日）【写真1】。また求人確保に向けて、ハローワークのジョブサポーター等が、岩手県の就業支援員と連携した事業所訪問、求人開拓を実施しています。（7月～）
- 宮城労働局：宮城労働局長・宮城県知事・仙台市長・宮城県教育委員会教育長・仙台市教育委員会教育長の連名により、宮城県内経済団体5団体に要請訪問しました（7月20日）【写真2】。また県内27主要団体等に要請書を送付しました。さらに、求人確保に向けて、ハローワークのジョブサポーター等が事業所訪問による求人開拓を実施しています。
- 福島労働局：福島労働局長・福島県知事・福島県教育委員会教育長の連名により、県内経済団体5団体に要請訪問しました（7月14日・15日）【写真3】。県内4地区でジョブサポーターと福島県の就職促進支援員との連絡会議を開催し、高校生の就職支援の連携方法について話し合いました（8月23日・24日・30日・31日）。また、求人確保に向けて、ハローワークのジョブサポーター等が事業所訪問による求人開拓を実施しています。



【写真1: 岩手における要請】



【写真2: 宮城における要請】



【写真3: 福島における要請】

② ハローワークの全国ネットワークを活用した首都圏等における求人の確保（文科・厚労）

県外での就職を希望する学生・生徒のために、被災地のハローワークと首都圏のハローワークが連携し、求人を確保します。



【これまでの取組】（下線部が新たな取組）

- 被災地の生徒の就職希望地・職種を調査し、これに基づいた求人開拓を8月に集中的に実施し、全国で就職機会を確保します。なお、特に希望が多い首都圏の労働局長に対しては、厚生労働大臣から徹底した取組を指示しました（7月29日）。また、9月末現在で約1,800人分の被災新規高卒者向けの求人を開拓しました。
- 文部科学大臣及び厚生労働大臣の連名で、経済団体及び業界団体計257団体にに対し、被災地の新規高卒者の採用拡大の要請書を送付しました（7月29日）。
- 笠文部科学大臣政務官及び小林厚生労働大臣政務官が日本経済団体連合会・全国中小企業団体中央会・日本商工会議所を訪問し、被災地の新規高卒者のための求人提出等を依頼しました（8月4日・11日）【写真4】。
- 文部科学省から各教育委員会等に対して、被災高校生の就職に対する協力を求める依頼文書を発出しました。（7月29日）
- 首都圏の労働局・ハローワーク等が開催する高校生向け企業説明会等に、被災地の高校の進路指導担当に出席してもらい、企業に対し、自校のアピールをしてもらいました（実施回数：11回（6月21日～7月29日）、参加被災地域進路担当者：91人）。



【写真4: 文科・厚労における要請】

【開催例】

- 埼玉労働局では、7月13日に「埼玉県高校生向け合同企業説明会」を開催し、141社の地元の企業がハローワークの呼びかけにより参加し、被災地の高校の進路指導担当者から、高校における就職活動の状況や就職を希望する生徒について説明を受ける機会を設けた。（写真5）

【参加企業からの感想】

- 「労働局・ハローワークからの案内状でこのような機会があることを知った。たくさんの生徒と出会うことができ、今後ともハローワークにこのような機会を設けてもらいたい」
- 「東北の教師の訪問を受け、震災を受けた現地の就職の大変さを実感した」
- 「東北の学校と多くの情報交換ができ、被災地各県の先生方の真剣な会社探しに頭の下がる思いがした」



【写真5: 企業と高校進路指導担当者の説明会】

③ ジョブサポーターが学校を訪問しての支援（文科・厚労）

ジョブサポーターが学校を訪問し、きめ細かな就職相談や求人情報の提供を実施します。

④ 被災地等における就職面接会等の開催（文科・厚労・経産）

【主に新規高校卒業予定者を対象にした取組】

被災地において、高校生を対象にした地元企業の就職面接会等を開催します。また、首都圏の企業を被災地に集めた企業説明会を開催します。

- ・ 11月21日 「新規高卒者就職面接会」（開催場所：千葉）（福島からバスを用意）
参加企業数：61社予定（被災新卒者専用求人以外も含む） 参加者数（被災学生数）：37人予定
- ・ 12月2日 「被災地新規高等学校卒業予定者就職面接会」（開催場所：福島県郡山）
参加企業数：35社予定



【これまでの取組（下線部が新たな取組）】

被災地の生徒を積極的に採用する首都圏の企業による就職面接会を各地で開催

※ 岩手・宮城・福島の各地域から仙台の会場への交通手段も用意

- ・ 10月14日 「がんばろう！東北 新規高卒者就職面接会」（開催場所：仙台）【写真6】
参加企業数：133社 参加者数（被災学生数）：692人
- ・ 11月1日 「新規高卒者就職面接会」（開催場所：埼玉）（福島からバスを用意）
参加企業数：108社（被災新卒者専用求人以外も含む） 参加者数（被災学生数）：35人
- ・ 11月10日 「新規高卒者就職面接会」（開催場所：栃木）（福島からバスを用意）
参加企業数：51社（被災新卒者専用求人以外も含む） 参加者数（被災学生数）：11人



【写真6：仙台での面接会を終えてバスに乗る生徒】

【主に新規大学卒業予定者等を対象にした取組】

○ 被災地などにおいて、新規大学卒業予定者等を対象にした就職面接の機会を継続的に提供します。

- ・ 11月24日 「就職応援フェアin郡山」（開催場所 福島）
- ・ 12月7日 「就職応援フェアin福島」（開催場所 福島）
- ・ 1月下旬 「2012ふるさと就職ガイダンス（仮）」（開催場所 岩手）
- ・ 2月下旬 「平成24年3月新規学卒者就職面接会（仮）」（開催場所 宮城）（11月1日時点の開催予定）



【これまでの主な取組（下線部が新たな取組）】

- ・ 9月24日 「就職応援フェア in 郡山」（開催場所：福島）
参加企業数：23社 参加者数：161人
- ・ 9月27日 「就職応援Career Forum」（開催場所：宮城）
参加企業数：62社 参加者数：435人
- ・ 9月29日 「就職応援フェア in 盛岡」（開催場所：岩手）
参加企業数：30社 参加者数：218人
- ・ 10月6日 「就職応援フェア in 福島」（開催場所：福島）
参加企業数：29社 参加者数：142人
- ・ 11月3日 「DREAM-MATCH LIVE 仙台」（開催場所：宮城）
参加企業数：25社 参加者数：710人



【写真7：面接会に臨む学生】

○ 被災地外での就職を希望する学生を対象に、交通手段・宿泊をセットにした就職面接会ツアーを開催します。

（11月時点の開催予定）

- ・ 2月（予定）「第3回新規大卒者等合同就職面接会」（開催場所：東京） ※詳細は調整中



【これまでの取組（下線部が新たな取組）】

- ・ 7月7日 「近畿ブロック大学等就職フェア2011」（開催場所：大阪）
参加企業数：のべ221社 参加者数：2,870人
（うち被災学生：72人）
- ・ 7月12日～15日 「新規大卒者等合同就職面接会」（開催場所：東京）
参加企業数：144社 参加者数：のべ1,478人
（うち被災学生：のべ120人）
- ・ 9月20日 「被災新卒者専用 埼玉・東京就職応援面接会」（開催場所：埼玉）
（写真8） 参加企業数：64社 参加者数（被災学生）：123人
- ・ 11月2日 「第2回新規大卒者等合同就職面接会」（開催場所：東京）
参加企業数：181社 参加者数：2,133人（うち被災学生：33人）



【写真8：被災新卒者と首都圏企業の面接会】

○ 被災地に通年にわたり面接会場を設置し、被災地のハローワークと首都圏のハローワークとの連携により、東北地方で勤務できる企業などを中心とした就職面接会を機動的に開催します。

⑤ 就活のための宿泊施設の提供（文科・厚労）

首都圏で就職活動を行う被災地域の学生・生徒（3年以内の既卒者を含む。）の皆様、（独）国立青少年教育振興機構（国立リハビリテーション青少年総合センター）及び（独）労働政策研究・研修機構（労働大学校）の協力により、宿泊施設を無料で提供しています。

（お問い合わせ）国立リハビリテーション青少年総合センター（東京都渋谷区）03-3469-2525 / 労働大学校（埼玉県朝霞市）048-463-1021

- ・ 宿泊者には、新卒応援ハローワークのジョブサポーターによる支援などの紹介を行います。



【これまでの取組】

- ・ 4月28日以降、のべ2,382人を受入れ（11月11日時点）
（うち労働大学校739人、オリンピックセンター1,643名）



【写真9：労働大学校宿泊中に開催された就職支援セミナー】